

Short Term Visit Program for Young Descendants of Immigrants from Fukuoka Prefecture

平成25年度

# 海外福岡県人会子弟招へい事業

◎期間 平成25年7月5日(金)～16日(火)

◎主催 海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

## 報告書

# Contents

目次

はじめに	2
知事あいさつ	3
概要	4
参加者名簿	5
全体プログラム日程	7
プログラム内容	8
参加者等の感想	13
事業の総評	14
参加者レポート／子弟	15
参加者レポート／引率者	27
参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	34
福岡県の海外県人会について	39
実施要綱	40

# Foreword

---

## はじめに

平成25年度海外福岡県人会子弟招へい事業には、7カ国13県人会から33名の皆さんが参加されました。

当事業は今年で6年目を迎え、これまでに16県人会から子どもたちを福岡へお迎えすることができました。

参加者の皆さんは、太宰府天満宮や小倉城の視察、梅ヶ枝餅作りや和太鼓、手すき和紙でのうちわ作りなど様々な日本文化を体験したほか、那珂小学校では、七夕飾りを折り紙で折ったり、書道体験などの授業に参加させていただき、同世代の子どもたちと一緒に日本の小学校生活を体験することができました。また、親戚宅にホームステイをした子どもたちは、親戚との交流を深めて、自分たちのルーツである福岡について学ぶことができました。

このプログラムを通して、子どもたちは、日本の文化、生活、習慣に触れ、また福岡の魅力を感じたことで、以前にも増して福岡県に対する興味が深まったものと確信しております。これを契機に、参加者の皆さんが、もっと日本語や日本文化を勉強をしたい、もう一度福岡に来たいという思いを強くしてくれることを願っております。

今年は、10月に福岡で12年ぶりとなる海外福岡県人会世界大会が開催されました。参加された県人会の代表者の方からは、本事業に対する高い評価を頂くとともに、今後も続けて欲しいとの話を多く聞くことができ、事業を実施してきた者としては、大変嬉しく思います。

また、参加者の皆さんが、本事業で得た経験を大切に、将来母国の県人会で中心的存在となり、日本・福岡県との更なる友好親善のために活躍していただくことを心から期待しております。

最後に本事業の実施にあたり、ご協力いただきました海外福岡県人会、福岡県移住者子弟留学生、ホストファミリーの皆様及び関係機関に、心から御礼申し上げますとともに、この事業の今後更なる発展にご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成25年12月

海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

実行委員長 田中俊太

# Message

## ごあいさつ

福岡県から海外に移住した方々とその子孫などで組織する「海外福岡県人会」は世界9カ国、21カ所に設置されています。

福岡県の海外への移住の歴史は、1885年のハワイから始まりました。移住された方々は、言葉はもとより気候、風土など全く異なる環境で大変な苦勞をしながら、移住国の発展に大きく貢献され、今日の確固たる地位を築いてこられました。

本県が国際社会の中で海外との交流を積極的に行う上で、県人会は本県と移住国との交流の懸け橋として、大変貴重な財産です。

一方、県人会では、移住から長い年月が経過し、日本語や日本文化を知らない世代が増えています。県人会のさらなる発展、また本県と移住国との交流の促進のためには、次代を担う後継者を育成することが大変重要となっています。

そのため、本県では、県人会会員の子弟を留学生として受け入れる事業を昭和41年から実施しており、これまで約400名を受け入れています。

また、平成20年度から、「海外福岡県人会子弟招へい事業」として、世界への関心や好奇心が高まる時期である10代前半の県人会子弟を福岡に招へいし、日本文化の体験や同年代の子どもたちとの交流を通して、福岡に対する興味・関心を育み、理解を深めていただいています。今回は、過去最多の7カ国13県人会から子弟22名、引率者11名の皆さんに参加いただきました。

本年10月には、8回目となる海外福岡県人会世界大会を、12年ぶりに母県・福岡県で開催しました。この世界大会において、県人会の代表者の方々から、参加した子どもたちが福岡や日本に対する興味や愛着を深め、また世界各国の県人会の間で参加した子どもたち同士の交流が続いているという話などを聞き、大変うれしく思っています。

今回の世界大会を契機に、福岡県と各県人会、また県人会相互のネットワークを強化し、これを活用したビジネスや青少年交流など幅広い分野での交流を促進していきたいと考えています。

招へい事業に参加した子どもたちが、福岡にルーツがあることを誇りに思い、将来県人会活動の中核的存在として、各国と福岡県のために活躍していただくことを大いに期待しています。

「海外福岡県人会子弟招へい事業」の実施に当たりご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げますとともに、若い世代の育成に引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。

平成25年12月

福岡県知事 小川 洋

# Outline

## 概要

### 1 目的

移住者及びその子孫からなる海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

### 2 期間 平成25年7月5日(金)～16日(火)

### 3 招へい者人数 7カ国33名 【内 訳】子弟22名、引率者11名

国名	子弟招へい者数	引率者数
ブラジル連邦共和国	8	3
ペルー共和国	1	1
メキシコ合衆国	2	1
コロンビア共和国	1	1
ボリビア多民族国	1	1
アルゼンチン共和国	1	1
アメリカ合衆国	8	3
合計	22	11

### 4 内容

#### (1) 同年代の子どもたちとの交流

那珂小学校、竹下太鼓との交流、宗像市小学生との交流

#### (2) 福岡の魅力に触れる

福岡市内視察(福岡市民防災センター、博多祇園山笠見学)、トヨタ自動車九州工場見学、北九州市内視察(小倉城見学)、太宰府天満宮見学等

#### (3) ルーツを探る

親戚宅、ボランティア宅へのホームステイ

#### (4) 日本文化の体験

日本語学習、手すき和紙のうちわ作り、梅ヶ枝餅作り、和太鼓体験

### 5 主催

#### 「海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会」

構成団体：福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課、福岡県新社会推進部青少年課、  
福岡県教育庁教育振興部義務教育課、(公財)福岡県国際交流センター

事務局：(公財)福岡県国際交流センター

共 催：宗像市

後 援：(財)サニックススポーツ振興財団

# Member List

## 参加者名簿

【参加者】 7カ国13県人会から子弟22名、引率者11名が参加しました。

No.	県人会名	引率 ／ 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル 福岡県人会	子弟	米沢 ユウジ ギレルメ	男	ブラジル
2			福永 クリスチアン ケン	男	
3			朝倉 ミカ ジュリア	女	
4			中尾 臼井 多美	女	
5			秋吉 エリキ 達也	男	
6			山下 マリア カロリーナ かおり	女	
7		引率	中村 クリスチアーネ 小百合	女	
8			山下 シンチア 瞳	女	
9	ベレン福岡県人会	子弟	小野 ヴィセンテ アルツール	男	
10	マナウス福岡県人会	子弟	大塚 けんじ	男	
11	トメアスー福岡県人会	引率	竹花 シンチア	女	
12	ペルー福岡クラブ	子弟	佐々木 ナルミ	女	ペルー
13		引率	大内田 真美	女	
14	コロンビア 福岡県人会	子弟	田中 タミ	女	コロンビア
15		引率	坂本 フリアナ	女	
16	メキシコ 福岡県人会	子弟	行徳 カリン 愛美	女	メキシコ
17			ロサス フェルナンデス カオリ	女	
18		引率	小沢 和子 アリシア	女	
19	在ボリビア 福岡県人会	子弟	八田 賢一	男	ボリビア
20		引率	八田 生香	女	
21	アルゼンチン 福岡県人会	子弟	福田 エセキエル 秀明	男	アルゼンチン
22		引率	津留 アーナ パウラ	女	
23	南加福岡県人会	子弟	田中 翔馬 ショーン	男	アメリカ
24		引率	穴戸 英司	男	
25	サンフランシスコ 福岡県人会	子弟	下野 真久	女	
26			フォスター ピンセント	男	
27			ザーヤス レイ ルイス	男	
28		引率	見元 眞智子	女	
29	ハワイ 福岡県人会	子弟	有吉 マリサ	女	
30			タナー テルヤ	男	
31	ハワイ島 福岡県人会	子弟	クック カリナ 美耶	女	
32			クック アスラン ケイコ	女	
33		引率	岩崎 パッツィ 百合子	女	

## 【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	細江 タニア 絵美	女	ブラジル
2		松延 理恵	女	
3		上田 上村 ゆきこ ブルナ	女	
4		横尾 謙児 ロナルド	男	
5	在ボリビア福岡県人会	徳永 直人	男	ボリビア
6	ペルー福岡クラブ	ヨシカイ ベニテス ディエゴ アロンソ	男	ペルー
7	アルゼンチン福岡県人会	湯浅 ファクンド	男	アルゼンチン
8	南加福岡県人会	金川 龍介	男	アメリカ

「福岡県移住者子弟留学生とは」…専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

## 【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

A グループ	子弟：米沢 ユウジ ギレルメ 福永 クリスチアン ケン 朝倉 ミカ ジュリア 山下 マリア カロリーナ かおり	引率者：中村 クリスチアーネ 小百合 留学生：細江 タニア 絵美
B グループ	子弟：中尾 白井 多美 秋吉 エリキ 達也 小野 ヴィセンテ アルツール 大塚 けんじ	引率者：山下 シンチア 瞳 竹花 シンチア 留学生：松延 理恵
C グループ	子弟：佐々木 ナルミ 田中 タミ 八田 賢一	引率者：大内田 真美 坂本 フリアナ 八田 生香 留学生：ヨシカイ ベニテス ディエゴ アロンソ 徳永 直人
D グループ	子弟：行徳 カリン 愛美 ロサス フェルナンデス カオリ 福田 エセキエル 秀明	引率者：小沢 和子 アリシア 津留 アーナ パウラ 留学生：湯浅 ファクンド
E グループ	子弟：田中 翔馬 ショーン 下野 真久 フォスター ビンセント ザーヤス レイ ルイス	引率者：宍戸 英司 見元 眞智子 留学生：金川 龍介
F グループ	子弟：有吉 マリサ タナー テルヤ クック カリナ 美耶 クック アスラン ケイコ	引率者：岩崎 パッツィ 百合子 留学生：横尾 謙児 ロナルド 上田 上村 ゆきこ ブルナ

# Schedule

## 全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所
7/5(金)	午 後	入国	グローバルアリーナ
6(土)	午 前	オリエンテーション	グローバルアリーナ
	午 後	小学校での出し物準備	
7(日)	終 日	宗像市小学生との交流	グローバルアリーナ
	夜	七夕祭り参加	
8(月)	午 前	トヨタ自動車九州工場見学	グローバルアリーナ
	午 後	太宰府天満宮見学	
	夜	歓迎会	
9(火)	終 日	那珂小学校との交流	グローバルアリーナ
		茶道体験	
		竹下太鼓グループとの交流	
10(水)	午 前	県知事表敬	グローバルアリーナ
	午 後	県議会議長表敬	
	午 後	北九州市内見学(小倉城・皿倉山)	
11(木)	午 前	八女伝統工芸館見学	グローバルアリーナ
	午 後	県青少年科学館見学	
12(金)	午 前	博多町家ふるさと館見学	ホームステイ
	午 後	ロボスクエア見学	
		福岡市民防災センター見学	
		博多祇園山笠見学	
ホストファミリーとの対面式			
13(土)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
14(日)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
15(月・祝)	午 後	送別会	グローバルアリーナ
		引率者会議	
16(火)	終 日	出国	



# Program





## プログラム内容


平成25年7月5日(金)～16日(火)

第1日目	5日(金) ～ 6日(土)	<p>◎入国</p> <p>7カ国(ブラジル・ペルー・コロンビア・メキシコ・ボリビア・アルゼンチン・アメリカ)から子弟22名、引率者11名が来福しました!</p>  <p>留学生による出迎え</p>  <p>参加者の到着</p>
第2日目	6日(土)	<p>◎午前：オリエンテーション</p> <p>参加者とスタッフの自己紹介のあと、滞在中のスケジュールや諸注意を確認して、日本語学習やお箸の使い方などのマナーについても一緒に学習しました。</p>    <p>◎午後：那珂小学校での発表準備</p> <p>7月9日に訪問する那珂小学校で、各県人会の紹介や各国の歌やダンスを披露するため、みんなで発表準備をしました。</p>    <p>発表準備：国ごとに各国を紹介するポスターを作りました。</p>

<p>第3日目</p>	<p>7日(日)</p>	<p>◎終日：宗像市小学生との交流</p> <p>グローバルアリーナで、宗像市の小学生と一緒に、おにぎり作りや、竹細工など日本の伝統的な遊びを通して日本文化を体験しました。宗像市吉武地区コミュニティ運営協議会と正助ふるさと村のスタッフの方々にもご協力いただきました。夕方には、グローバルアリーナで開催された七夕祭りのキャンドル点灯を手伝いました。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>竹鉄砲作り</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>竹馬遊び</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>そうめん流し</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>おにぎりを作りました</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>スイカ割り</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>七夕キャンドル点灯</p> </div> </div>
<p>第4日目</p>	<p>8日(月)</p>	<p>◎午前：トヨタ自動車九州工場見学</p> <p>宮若市にあるトヨタ自動車九州工場で自動車の製造工程を見学しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>◎午後：太宰府天満宮見学</p> <p>2グループに分かれて太宰府天満宮を参拝しました。太宰府館では、太宰府を代表する梅ヶ枝餅作りを体験しました。生地を練るところから餡をつめ、焼成までの全工程を行い、みんな上手に作れました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">太宰府天満宮にて <span style="margin-left: 200px;">梅ヶ枝餅作り体験</span></p> <p>◎夜：歓迎会</p> <p>福岡県国際交流センター主催の歓迎会が開催されました。新宮松比古理事長の挨拶のあと、参加者は1人ずつ自己紹介をしました。福岡県海外移住家族会の武藤英治会長をはじめ、家族会会員の皆さんにもご出席いただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">新宮理事長から参加者へ記念品贈呈 <span style="margin-left: 100px;">参加者代表挨拶</span> <span style="margin-left: 100px;">出席者の皆さんと</span></p>

<p>第5日目</p>	<p>9日(火)</p>	<p>◎終日：那珂小学校との交流</p> <p>那珂小学校の生徒の皆さんと七夕飾りを作ったり、掃除や書道の体験をしたり、一緒に給食を食べたりしました。また、各県人会の紹介や、各国の歌やダンスを披露し、文化交流をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>七夕飾り作り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>書道</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>各県人会からの発表</p> </div> </div> <p>◎夕方：茶道体験、竹下太鼓グループとの交流</p> <p>那珂小学校に隣接している公民館で、茶道を体験しました。先生にお点前を教えて頂いた後、実際に自分たちでお茶をたて、お菓子と一緒に味わいました。また、竹下太鼓グループの皆さんとの交流では、竹下太鼓の演奏を聞かせて頂いた後に、一緒に和太鼓をたたく体験をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>茶道体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>和太鼓体験</p> </div> </div>
<p>第6日目</p>	<p>10日(水)</p>	<p>◎午前：小川洋福岡県知事表敬訪問、松尾統章福岡県議会議長表敬訪問</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小川知事と記念撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>松尾議長・長副議長と一緒に</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>県議会議場にて</p> </div> </div> <p>◎午後：北九州見学</p> <p>小倉城を見学したり、夜は帆柱ケーブルで皿倉山にのぼり、北九州の夜景を眺めました。小倉祇園太鼓保存振興会の樽井敬三理事のご厚意のもと、1週間後に控えた小倉祇園太鼓競演大会の練習風景を見学させて頂きました。実際に子弟たちも、太鼓のたたき方を習い、交流ができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小倉城にて</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小倉祇園太鼓との交流</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>皿倉山からの夜景</p> </div> </div>

<p>第7日目</p>	<p>11日(木)</p>	<p>◎午前：八女伝統工芸館</p> <p>様々な草花を使って、それぞれがオリジナルの手すき和紙のうちわを作りました。また、八女観光大使の馬場美雅さんが工芸館にて、民謡と三味線を披露してくれました。三味線の演奏に合わせて、みんなで炭坑節を踊るなど、大いに盛り上がりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">個性あふれる、手すき和紙のうちわができました。</p> <p style="text-align: right;">馬場美雅さん</p>
		<p>◎午後：県青少年科学館</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>久留米の県青少年科学館では、プラネタリウムを見たり、福岡の先端科学技術を楽しみました。</p>
<p>第8日目</p>	<p>12日(金)</p>	<p>◎終日：福岡市内見学</p> <p>博多町家ふるさと館、上川端商店街、ロボスクエア、福岡市民防災センターなどを訪れ、博多祇園山笠も見学しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">博多祇園山笠の前で</p> <p style="text-align: center;">福岡市民防災センターで消火体験</p> <p style="text-align: right;">追い山見学</p> <p>◎夕方：ホストファミリーとの対面式</p>
<p>第9日目</p>	<p>13日(土)</p>	<p>◎終日：ホストファミリーとの交流</p>
<p>第10日目</p>	<p>14日(日)</p>	<p>◎終日：ホストファミリーとの交流</p>

<p>第11日目</p>	<p>15日 (月・祝)</p>	<p>◎午後：送別会          ホストファミリーの皆さんと参加者がそろい、送別会を行いました。</p>  <p>ホストファミリーと記念撮影</p>
<p>第12日目</p>	<p>16日(火)</p>	<p>◎帰国          12日間のプログラムを終えて、全員無事に帰国しました。</p>

# Comments

## 参加者等の感想

### 子どもたちからの感想

- 日本の小学校について知ることができ、日本の小学生と一緒に楽しむことができて良かった。自分の国のことも日本の小学生に伝えられた。
- ホームステイでは、いろいろな場所に連れて行ってもらえて、とても素敵なホストファミリーだった。また会いに行きたい。
- 小倉城の見学は、昔の日本を知ることができて、とても興味深かった。
- 他国からの参加者との交流が楽しかった。楽しむのには言語の違いなんて関係ないと思った。
- 祖父母のことについてたくさん学ぶことができ、とても良い時間が過ごせた。
- 福岡は、とても綺麗で最高の場所だったので、また戻ってきたい。

### 保護者からの感想(帰国した子どもの様子から)

- 将来、また福岡に行きたいと言って、日本語を一生懸命に勉強するようになった。
- 今まで以上に日本語、日本の歴史、文化に興味を持つようになった。
- 祖父母が話す日本語に今まで以上に耳を傾けるようになった。
- この短期間で子どもは、自信と責任を身につけ、目を見張るような成長をして帰ってきた。
- 馴染みのない団体行動を、同年代の友人達と経験できたことで、学ぶことが多かったと思う。
- このプログラムは、海外に住む子弟が国際的な人材に育っていく過程で、大変貴重で意義のあるものだったと思う。

### 引率者からの感想

- 日本の文化や歴史が学べて良かった。様々な国からの参加者と交流ができて、日本だけではなく違う国の文化も学べて良かった。
- 自分の親戚に会えたこと、子どもたち、引率者の皆さん、その他関係者の方々に会い、一緒に活動したことが心に残った。
- ホームステイでは、初めて会う親戚と、交流を深めることができた。
- 各県人会の皆さんと交流ができ、同じ福岡をルーツとする参加者が、同じ釜の飯を食べて行動を共にすることなど、もう一生ないと感じた。
- 日本にも家族がいるということを感じたし、これからも福岡との関係を大事に守り続けていきたいと思った。
- 現在の日系3世以降の世代は、日本語学習への意欲をだんだん失ってきている。今回のプログラムは、日系人に日本語の勉強を始めるきっかけを与えてくれた。

# Evaluation

## 事業の総評

この事業は、参加した子どもたちが、①同年代の子どもたちと交流する ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化を体験する等を経験することで、福岡・日本に対する興味・理解を深め、将来は県人会活動を推進するリーダーに育ってもらうことを目的としている。

今年度の参加者数は、7カ国13県人会からの33名で、本事業が始まって以来、一番参加者の多い年となった。

期間中には昨年に引き続き、那珂小学校において七夕飾り作りや書道体験、各国の歌やダンスの披露など、交流の時間を設けた。また、宗像市の小学生との交流では、竹細工やスイカ割りなどの遊びやおにぎり作りなどを行い、同年代との文化交流を存分に楽しんでいる様子であった。

ホームステイに関しては、昨年の2泊3日では少ないとの意見を考慮し、3泊4日間とした。結果、親戚や知人宅で十分に楽しめる時間もあったせいか、とても充実していて良かったという声が多かった。初めて親戚に会う参加者もあり、自分のルーツを再確認できたようだ。

引率者会議では、各福岡県人会の運営方法や、県人会員の高齢化の問題など、県会同士で様々な情報交換ができた。県人会の中には、Facebookを活用しての情報共有が主流になってきているところもあり、若い世代も興味を示しやすくなっていると感じた。

本プログラムは、各県人会から福岡県に1年間留学をしている福岡県移住者子弟留学生にとっても、日本の文化や習慣を知る上で有意義なものとなっており、子どもたちのお兄さん、お姉さんとして、身の回りの世話や言葉のサポートをすることで、子どもたちの大きな支えにもなっている。今年は5カ国5県人会から8名の留学生が来ており、参加者をサポートしてくれた。特に今回は、男性の引率者が1人だった事もあり、男子留学生の協力は必要不可欠であった。また、子どもたちにとっても、留学生と触れ合えたことは、貴重な体験で、日本語をもっと勉強して、将来留学生として福岡県に戻りたいという夢を持って帰国した子どもたちも多かった。

今年度は、県人会世界大会が10月に本県で開催されたことから、地元新聞社の子ども向け紙面企画で、移住者子弟が取り上げられる事となり、ブラジル、ペルー、ハワイの子弟3名が、子ども記者の取材を受けた。

各県人会からは、参加した子どもたちが帰国後、家庭で日本語を積極的に話すようになり、日本文化について関心を高めている、また独立心を今まで以上にもつようになったという報告を多く受けている。本事業では、これまでに子弟112名、引率者55名を受け入れてきたが、事業成果が一過性のものにならないよう、参加者による同窓会組織の設立なども視野に、県人会や福岡県海外移住家族会等と連携しながら、参加者が次世代の県人会の担い手として育つようフォローアップしていくことが重要である。

# Report

参加者レポート

**【子 弟】**





米沢 ユウジ ギレルメ

Yonezawa Yuji Guilherme



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

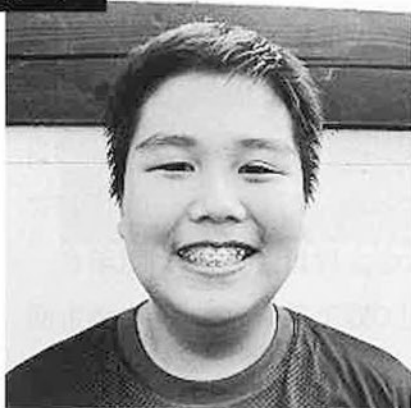
僕は日本でいろいろなことを覚えました。日本の季節はブラジルの季節とは逆です。他の国から来た子どもたちや日本の子どもたちと知り合っ、違う文化についても覚えました。竹で、竹鉄砲やそうめんのお椀を作りました。七夕祭りは、とてもきれいでした。トヨタ自動車九州工場では、車を作るところを見ました。那珂小学校での交流では、日本語が分からなかったけれど、とてもおもしろかったです。茶道体験では、自分でお茶をたてて飲みました。少し苦かったです。福岡県知事や、県議会議員のみなさんとも会いました。ロボスクエアでは、ロボットがハンカチを配るのを見ました。市民防災センターで、災害を防ぐ体験をしました。とても怖かったです。

どの経験もとても良い勉強になりました。また福岡へ行きたいと思います。

### ～親御さんからのメッセージ～

本人は、このプログラムに選ばれた事を大変喜んで帰ってきました。福岡で経験したこと、食べたこと、いろいろな場所を見たこと、知り合った多くの人のことを、毎日喜んで話しています。また将来、日本に留学したいと言っているのも、日本語を一生懸命に勉強しています。

これらも福岡県のプログラムに参加して活動し、今後は日本とブラジルの絆が更に強くなるように、また、お互いの交流がますます盛んになっていくようにお手伝いしていきたいと思っています。



福永 クリスチアン ケン

Fukunaga Christian Ken



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回、日本に行くことができ、すごくうれしく思いました。日本文化や、日本の習慣を見ました。お友達がいっぱいできて、おもしろかったです。日本の7月が、とても暑かったのでびっくりしました。僕は、日本語があまりできなかったのも、たいへん不自由でしたが、これから一生懸命に勉強して、大学を卒業したあと、日本へ留学したいと思っています。福岡県の皆さん、ホストファミリーになってくれた関さん、心から感謝しています。ありがとうございます。

### ～親御さんからのメッセージ～

息子が福岡に行く機会を得たことを知った時、私たち夫婦は喜びのあまり気持ちを表現する言葉さえ見つかりませんでした。日本滞在期間中、息子を支えてくださり、妻も私もとても感謝しています。彼はグローバルアリーナで過ごした時間を、これから先ずっと忘れることはないと思います。祭りにホームステイ、日本の食べ物、文化や伝統とたくさんを彼は学びました。特に大事なものは、日本人の心と考えを学べたことです。全ての事を良くしていこうとする日本についての見方が、変わったようです。福岡県人会の会員として、彼が日本語に興味を持ち、そして、将来県費留学生として、福岡に再び行きたいという気持ちを刺激してくれたことに、とても感謝いたします。

A  
グループ

朝倉 ミカ ジュリア  
Asakura Mika Giulia



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は家族と離れて旅行をしたのは、今回が初めてでした。この旅で、私はいろいろな国の子どもたちと出会い、英語でたくさん話すこともできて、とても嬉しかったです。私は日本が大好きです。なぜなら、とても綺麗で、住むには素晴らしく最高の場所だからです。いつか必ず、もう一度日本に戻りたいです。日本の教育はとても充実していて、とても素晴らしいです。また、日本文化も学ぶことができました。日本は本当に美しい所です。今回、私はいろいろな場所に行くことができました。その中でも、日本の小学生との交流では、一緒に給食を食べたり遊んだりして、とても楽しい時間を過ごしました。私はこの旅で決して忘れることのできない、とても素晴らしい経験をすることができました。本当にありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

娘がこのプログラムに参加させて頂いたことは、素晴らしい経験でした。祖父の生まれた国である日本へ、一度だけでも行くことができたことに、本当に心から感謝申し上げます。ホームステイの方々の温かい出迎えも一生忘れません。帰国後、娘は自分の独立心を本人自身が感じていました。そして将来娘は、「ブラジルが日本のように安全で清潔な国になるように、自分も頑張る」と話しています。

A  
グループ

山下 マリア カロリーナ かおり  
Yamashita Maria Carolina Kaori



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムによって、私達は自分たちの祖先の国を知るチャンスを得ることができました。日本で、私はブラジルとは違った生活様式や文化を知ることができました。ブラジルとは違うタイプの服を着たり、特徴のある食べ物を食べたり、習慣や、建物も異なりました。ホームステイでは、梶本さんの家族にお世話になり、みんなに親切にしてもらいました。川の水や雨の水をパイプで引き込んで利用している、きれいな家です。そのほか、きれいなお城がある熊本につれてってもらいました。そして、きれいなレストランでラーメンを食べました。

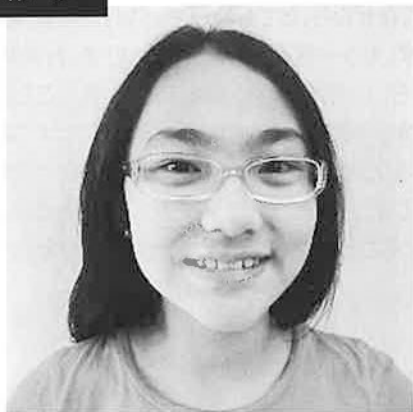
福岡県のみなさんや梶本さん、そのほかの方々にお礼を申し上げます。

### ～親御さんからのメッセージ～

娘が今回のプログラムでどれくらい変化したかを言葉で言い表す事はできませんが、ポジティブに変化したことは疑う余地がありません。

私はブラジル2世で、妻は沖縄出身です。私達夫婦は、自分達が親から教えてもらった大事な事、「正直、尊敬、隣人愛」などを娘に教えてきました。それを家の中や生活の中で実行しようとしても、どうしても娘には理解してもらえませんでした。それは、家の外でのブラジル社会や地域では、普段見ようにも見られない事なので、無理もない話です。

しかし、今回の子弟招へい事業は、家の中や社会で通用し活用できる人との交流や、人生を変えるかもしれない大事な事を娘に教えてくれたようです。非常に感謝しています。

B  
グループ

中尾 白井 多美

Nakao Ussui Tami



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本に行って本当に良かったです。日本の習慣や文化と食べ物が実際にわかりました。曾祖父と曾祖母の故郷へ行って、親戚のみなさんと会うことができ、本当にうれしかったです。

日本の教育は立派です。また日本人は、みんなに優しく親切です。日本にもっと滞在したい気持ちでいっぱいでした。親戚ともっと話をして、美味しい食べ物を食べ、買い物をする時間が欲しかったです。グローバルアリーナにお世話になったこと、友達がいっぱいできたことは、とても楽しかったです。

全ては福岡県のみなさんのおかげです。日本の夏は蒸し暑いですが、大切な時間を過ごせて、幸せでした。日本にとっても興味がわき、もっと日本について勉強したいと思いました。必ず日本に戻ってきたいです。どうもありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

短期間でありがたながら、娘はこれからの人生の記憶に残る経験をいろいろと積むことができました。今まで以上に日本語、日本の歴史、そして日本文化に興味をもち、これから日本とブラジルの懸け橋になれる事に期待ができています。この経験を積ませていただいた事に、心から感謝しています。

B  
グループ

秋吉 エリキ 達也

Akiyoshi Eric Tatsuya



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本の皆さん、那珂小学校の新しい友達、たくさん関係者の方々、ホームステイの温かい家族、本当にありがとうございました。日本文化や、昔の日本と最先端の日本を見ることができました。一番印象に残ったのは、「みんなで助けあえば、何でもできる」という日本の考え方です。

本当にこのプログラムの事は、一生忘れません。

## ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムに参加することができて、本当に感謝しています。息子は帰国後、日本語で話したい、日本の事をもっと知りたいという思いを持って帰ってきました。人間として、本当にいろいろと学ぶことができました。福岡県国際交流センターや福岡県庁のみなさんの活動を見ることができ、また日本人の優しさに触れるなかで、日本人の助けあう力が強く心の中に残ったそうです。日本人のルーツと伝統に興味を持つようになりました。本当にありがとうございました。

B

グループ



小野 ヴィセンテ アルツール

Ono Vicente Arthur



【ベレン福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は、教育が全ての人にとって、とても重要であることを学びました。また、どこの国から来たかは関係なく、お互いから多くのことを学ぶことができるという事も知りました。僕は本当に今回の滞在を楽しむことができました。初めての場所だけではなく、日本人の日常生活も見ることができました。実際に訪れてみると、それは雑誌で読んでいたものやテレビで見て知っていたものとは、とても異なるものでした。

僕は、様々な観光スポットや、料理、那珂小学校での交流を楽しみました。ブラジルとは異なる点もありましたが、多くのことが共通していると思いました。僕はできれば、将来、勉強をするために福岡県に戻ってきたいと思います。そして、一番大切なことは、もっともっと日本語を勉強する必要があることだと気づきました。この機会を与えてくださって、ありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

息子は、一人でプログラムに参加するという事により、大きく成長しました。以前よりさらに責任感を持ち、社会での役割や、自分の日本人の祖先の重要性を認識しているようでした。文化の異なる人々との出会いで、息子の視野が広がり、将来の目標も持てたようです。新しい言語を学び、日本に再び行くことが将来の息子の計画の一部のようです。このような機会を与えていただき、本当に本当にありがとうございました。

B

グループ



大塚 けんじ

Otsuka Kenji



【マナウス福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回、僕はブラジルや他の国から参加した新しい友達ができ、日本語と英語も学ぶことができました。どこへ行っても、素晴らしい歓迎を受けました。福岡県知事にもお会いすることができました。素晴らしいプログラムだと思いました。ホームステイでは松田さんにお世話になりました。皆さんにとっても良くしてもらいました。松田さんはとても料理が上手で、美味しい料理を作ってくれました。

僕はこのような素晴らしい体験ができたことを誇りに感じます。ルーツである福岡県を知り、日本文化やルールも学びました。たくさんの人に、この素晴らしいプログラムを知ってもらい、先祖たちが生まれ育った故郷を知ってほしいと思います。もう一度福岡へ行けるチャンスがあることを願っています。

## ～親御さんからのメッセージ～

息子は幼少から祖母に、日本語や文化、家族のルーツについて知る大切さを教えられ、日本語学校にも通っていました。内気な息子が家族から離れ、遠く言葉の違う国でやっていけるか不安でした。しかし、いろいろな国の子どもたちと友達になり、今でも連絡を取り合っています。他のブラジルからの参加者の家族と会ったり、アマゾンに訪ねてきてくれたりと交流を続けています。息子が帰ってきてから感じることは、とても勇敢になったという事です。さらに日本語を勉強するようになり、他の子弟達や、兄弟達にも、県人会活動へ参加するように言っています。このプログラムで、彼は県費留学生たちと話す機会があり、いろいろと教えてもらい、留学にも興味を持ったようです。福岡県をはじめ、関係者の皆さん、息子をこのような素晴らしいプログラムに参加できる機会を与えてくださり、心から感謝いたします。



佐々木 ナルミ

Sasaki Narumi



【ペルー福岡クラブ】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、このプログラムに参加することでとても素晴らしい経験をする事ができました。ほかの国の参加者たちと共に過ごし、文化交流をしたり、共同生活をしたりと、今まで経験したことのない多くのことを体験し、学びました。また、福岡県のいろいろな施設や観光地に行けたことも、とても楽しかったです。

このようなプログラムを、私たち県人会の子どもたちのために企画し、お世話してくださった福岡県や県人会の皆さんにはとても感謝をしています。

### ～親御さんからのメッセージ～

娘を通して私達、親は、とても素晴らしい経験をさせていただきました。娘は将来の目標を持っています。そして、この体験が何よりも一人の人間として、娘を成長をさせてくれました。また、このような機会を多くの子弟達にくださり、そして歓迎してくださった多くの関係者の皆さまに心から感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



田中 タミ

Tanaka Tami



【コロンビア福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで、日本の文化や伝統、お祭りや儀式などについて勉強できました。

私は福岡県に行くことで、前よりも少し日本語が上手になったと思います。でも、まだまだ勉強しなければいけないと思います。

おじいちゃん、おばあちゃんのふるさとに行くことができ、今の年齢で、家族とはなれて、このように素晴らしい体験をさせてもらったことは、私自身の成長にとっても役立ちました。

### ～親御さんからのメッセージ～

本当に、いろいろとありがとうございました。おかげで、タミは日本の習慣について学ぶことができました。まだ幼い彼女にとっては、全く環境の違う日本・福岡への旅でしたが、おかげさまで英語よりも日本語が上手になりました。

タミの母として、大変皆様に感謝しております。お世話になった皆様、ありがとうございました。

C  
グループ

八田 賢一  
Hatta Kenichi



【在ボリビア福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

初めて行く日本だったので、福岡についた時は夢を見ているようでした。プログラムで、各国の友達ができ、とても嬉しかったです。七夕イベントではいろいろな色のろうそくに火をつけ、すごく綺麗でした。宗像市の小学生との初めての流しそうめんは、楽しくとても美味しかったです。竹鉄砲を作ったり竹細工をしたり、楽しい経験でした。トヨタ自動車九州工場見学では、人間とロボットが車を組み立てる仕事の速さに驚きました。福岡の街は、ゴミが落ちていないことにも感心しました。那珂小学校では友達と遊んだり、太鼓のたたき方も教えてもらいました。週末に日本の親戚と過ごしたホームステイの期間はとても良かったです。皆が優しくしてくれ、会えてよかったと思いました。いろいろなところへ連れていってくださり、ありがとうございました。この12日間はとても楽しく、日本の事をたくさん学ぶことができました。ありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

プログラムに参加してからは、以前より身の回りのことを自分でするようになりました。はきはきと喋り、人前で話をしているも緊張しなくなりました。日本文化に、さらに興味を持つようになりました。

このチャンスを与えてくださいました、県人会の皆さん、国際交流センターのみなさんに、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

D  
グループ

行徳 カリン 愛美  
Gyotoku Karin Aimi



【メキシコ福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムは、「子孫」の意味を理解するためにとても良い機会でした。今回、祖先が生まれ育った土地を実際に見ることができました。このプログラムは、日本を知り、深く福岡を意識するための良い機会です。また、同じアメリカ大陸に住み、祖先のルーツを維持したいという思いを持つ福岡県移住者に会うこともできます。福岡県を単に訪問するだけでなく、旅行とは異った視点や目標を持って、私の曾祖父の故郷を見ることができました。同時に、彼らの伝統について学ぶ事は本当に美しいことです。心にずっと残ることだと思います。私の祖先も私の心の中に確実に生きています。福岡県知事や福岡県庁、国際交流センター、子弟、ホームステイ先の早野ファミリー、そしてこの素晴らしいプログラムに関わる全ての方々に感謝します。本当にありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

本プログラム期間中での全ての経験は、娘に自分が日本人の子孫である事、メキシコと日本と両方の豊かな文化を持っている事を理解をさせました。娘はとても成長し、自立して帰ってきました。自分の時間や勉強、行動にさらに責任を持つようになりました。娘はリーダーシップをとる方でしたが、今はなおさらです。また、祖父母の話す日本語にも、今まで以上に耳をかたむけるようになりました。娘は福岡県で過ごした日々や、引率者、ホストファミリーの早野さんを恋しがっています。本当に今回のプログラムに参加させて頂いた事に感謝しています。私と娘を幸せな気持ちにして頂きありがとうございます。

D  
グループ

ロサス フェルナンデス カオリ

Rosas Fernandez Kaori



【メキシコ福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

はじめに、このプログラムに参加させていただいた県人会の皆さん、福岡県の皆さんに感謝します。

福岡県での交流を通して、引率者や子弟同士でたくさんの事を学びました。福岡の文化を学び、お祭りが大好きになりました。音楽もそうです。トヨタ自動車九州工場見学では、車の内部と外部がどのようなになっているかがわかりました。那珂小学校や県青少年科学館にも行きました。福岡の歴史や伝統を知ることができました。

このプログラムで各国からの県人会に友達ができ、Facebook で連絡をとれている事が、とても嬉しいです。

## ～親御さんからのメッセージ～

福岡県に感謝の気持ちを伝えたいと思います。今回のプログラムに娘を参加させて頂きありがとうございました。この経験は娘の人としての成長に、とても役立ちました。そして、娘に自信も与えてくれました。この交流で、子弟達は同世代の友達や世代を超えた交流を通して、自信を強く持てたようです。娘が日本文化をもっとたくさん学べるように応援したいと思います。娘は参加者の子どもたちと遊んだりお話ししたりと、とても楽しんだ様子です。福岡周辺の観光をしたり、那珂小学校との交流、トヨタ自動車九州工場見学、市民防災センター等々での体験などを通して、とても楽しい時間を過ごしたようです。この短期間で子どもがより成長し、自信と責任感を身につけたこと、目を見張るような成長に驚いています。本当にありがとうございます。そして将来もっと多くの子どもたちが、このプログラムに参加する事ができれば、より価値あるものになっていくと思います。

D  
グループ

福田 エセキエル 秀明

Fukuda Ezequiel Hideaki



【アルゼンチン福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで日本へ行けたことが、本当に良かったと思っています。トヨタ自動車九州工場見学やロボスクエアの見学が楽しかったです。また、日本のいろいろな食べ物や、七夕まつりも楽しかったです。そして、ホストファミリーの中野さんには、いろいろとお世話になって、感謝しています。

いろいろな県人会からの参加者の子弟達と一緒に、たくさん遊べたのも楽しかったです。皆さん、本当にありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

まず、福岡県国際交流センターの皆様、このような機会を与えていただいたことに深く感謝を申し上げます。エセキエルは、福岡へ旅立つ前は、福岡のことに深い興味を示していましたが、アルゼンチンに帰ってからはいろいろな人々に、日本・福岡はどのようなところかを、一生懸命話をしています。

一生、忘れられない経験になっただろうと思っています。皆さん、本当にありがとうございました。

E

グループ



田中 翔馬 ショーン

Tanaka Shoma Sean



【南加福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加したみんなと友達になれたことが、とても嬉しかったです。プログラムの中で、トヨタ自動車九州工場見学と太宰府天満宮でつくった梅ヶ枝もちが、一番印象に残っています。トヨタ自動車九州工場見学では、いろいろな車を見たりさわったりする事ができて、楽しかったです。太宰府天満宮での梅ヶ枝もち作りは、初めてでしたが、うまくできて嬉しかったです。ほかにも那珂小学校でたくさんの友達ができたり、みんなといっしょに給食を食べたり、習字を書いたり、アメリカでは体験できない事ができました。

今回、はじめて家族とはなれて旅をすることが最初は心配でしたが、いろいろな国からきた22人の友達がいだったのでさびしくありませんでした。とても楽しく良い経験になりました。ありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

今回が、初めての家族の同行のない日本への旅でしたが、すぐにたくさんの友人ができ、とても楽しく貴重な経験をさせていただけたことをうれしく思います。本人からの言葉や写真などで、楽しくすごせたことを実感しております。アメリカでは少ない団体行動というものを、同年代の友人と経験できたことは、学ぶことも多かったのではと思います。アメリカ帰国後に、今回できた友人と早速 E-mail で連絡し合っているようで、今後も長く交流ができればと願っております。

最後に今回のこのプログラムに携わっていただいた皆様、南加福岡県人会の皆様、大変貴重な経験をさせていただけたことを改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

E

グループ



下野 真久

Shimono Miku



【サンフランシスコ福岡県人会】

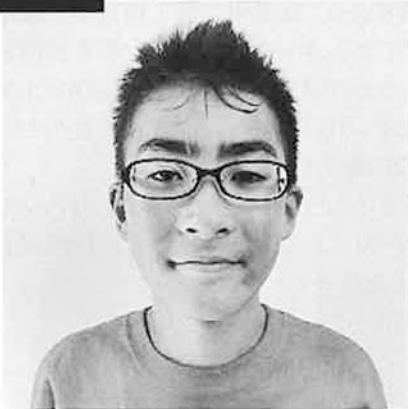
## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで、たくさん福岡の文化を学びました。たくさんの他の国のお友達に出会えて、すごく楽しかったです。私は、太宰府天満宮と小倉城が好きでした。こちらに帰ってきて、菅原道真について調べました。建物や、歴史はおもしろかったです。このプログラムを私の弟や、他の子どもたちにすすめます。みんなすばらしい体験ができ、行く前とくらべて、福岡に対して新しい考え方ができるようになると思います。私は、大学に行ったら、サンフランシスコ福岡県人会の県費留学生になりたいです。そして日本語を勉強し、今回行った所がどう変わっているか、見てみたいです。今までで一番すばらしい体験でした。このプログラムに行かせてくださって、ありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

この度は、娘が大変お世話になりました。出発前からとても楽しみにしていて、福岡の食べ物や、他国の参加者との交流の話をしていました。帰国後は、プログラム中に行ったいろいろな所について、楽しそうに説明してくれます。日本語の会話はできますが、留学生のように、上手に日本語で説明できるようになりたい、と言っています。将来も留学生として、福岡に行きたいようで、日本語の大切さを実感したようです。娘は、他国の参加者やこのプログラムでお世話になった皆様との交流で、知識、視野が広がり、ひとまわり成長して帰ってきたと思います。このプログラムに参加させていただき、ありがとうございました。



E  
グループ

フォスター ビンセント

Foster Vincent



【サンフランシスコ福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回の旅は僕の今までの人生の中で、一番多くの事が学べる旅でした。出発前は、少し行くのが不安でしたが、行って本当に良かったと思います。多くのいろいろな国の友達ができました。アメリカと日本は知っていたけれど、ブラジルやボリビア、アルゼンチンからの友達と一緒に行動して、違いを学べた事、それから旅行では連れて行ってもらえない所に行けて、面白い経験ができた事です。しかし、一つだけ、滞在期間が短すぎたので、あと1週間期間を長くして、ホームステイの時間が長くとれたら良いなと思います。僕を選んでくれた福岡県の方々、有り難うございました。僕の経験を福岡に興味を持っている友達に自慢しています。とても良いプログラムだったので、これからもずっと続けて欲しいです。

## ～親御さんからのメッセージ～

この度は、息子が子弟招へいプログラムに参加させて頂き、大変光栄に思っております。元々自立心のある子ではありましたが、今回帰国してからは非常に積極的に人との交流をとるようになったように思います。また、福岡について興味を示し、自らネットなどで情報を調べたりするようになりました。いろいろな国のお友達ができ、早速電話やメールで日本での思い出話をしています。親の付き添いなしで旅をした事、いろいろな人種、年齢の方々との交流を持てた事で独立心を養う事ができ、集団の中での自分について、自覚できるようになったと思います。福岡県のこのプログラムは、海外に住む子弟が、国際的な人材に育って行く過程で、大変貴重で、意義のあるものだと思います。10年、20年先を見据えた時に、このような経験をした子弟が世界を支えていくのだな、と思います。この素晴らしい機会を与えて下さった皆様方には大変感謝しております。ありがとうございました。

E  
グループ

ザーヤス レイ ルイス

Zayas Rey Luis



【サンフランシスコ福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムは福岡の素晴らしさを知り、学ぶ事が多くとても楽しかったです。グローバルアリーナでは2段ベットで寝たり、図書館、ジム、公園や大浴場もありとても楽しかったです。ホームステイでは日本の家族に会うことができ、短い時間でしたが楽しい時間を過ごすことができました。プログラムを終え、福岡で出会った世界各国からの友達に、さよならを言うのがとても辛く寂しかったけれど、この経験は大切な思い出になると思います。僕の弟や1人でも多くの人達に、このプログラムの素晴らしさを伝えていきたいと思います。生涯忘れることのない思い出になりました。このような素晴らしいプログラムに参加できたことに、とても感謝しています。

## ～親御さんからのメッセージ～

息子はこのプログラムを通して、自分が日本人である事、福岡に所縁がある事を改めて実感し、誇りを持つようになりました。また、初めて親元を離れる旅で、思いやりや責任感が強くなり、一段と成長して帰ってきました。世界各国から集まった同世代の子どもたちや県費留学生の方々に出会い、お互いの文化や言葉を尊重しあい、大変良い経験になったようです。日本語や福岡への興味が更に深まり、また日本へ行くことをとても楽しみにしています。このような素晴らしいプログラムに参加させて頂いた事、福岡県や国際交流センターの皆様には心より感謝致しております。

F  
グループ

有吉 マリサ

Ariyoshi Marisa



【ハワイ福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本は、皆が優しいという事を学びました。また、日本の子どもはとても自立心をもって感じました。ホストファミリーには13歳の男の子と10歳の女の子がいましたが、13歳の男の子は熊本県の学校へ一人で新幹線通学をしていました。一人で他県に通学する彼の行動に、とても驚きました。妹も一人で犬の散歩やおつかいに行くなどとても自立していました。ハワイでは私は、両親なしでは買い物に行かないので、日本で子ども同士が買い物を楽しんでいる姿をよく見かけて驚きました。那珂小学校と交流をした時、子どもたちが自分の給食の準備も片付けも全てしていて、給食は全部残さず食べなければいけませんでした。ハワイでは、普段私達は食堂に行き、食べたい食べ物を買って食べます。私はこの子弟招へい事業で、素晴らしくとても楽しい経験をしました。福岡に行く機会を与えてくれてありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

娘は福岡から帰った時、たくさんのお土産話と元気でいっぱいでした。那珂小学校との交流や県庁表敬、ホームステイを通して素晴らしい経験を共有してきたようです。娘は他国からの参加者や留学生の皆さんと交わり、一人だという恐怖は吹き飛び、親なしでやっていく決意が芽生えて自由に行動ができ、それが自信となったようです。今でもブラジルとコロンビアの友達と連絡を取り合っており、その友情はとても固く結ばれているようです。娘の福岡への旅は大成功以上のものがありました。福岡県とハワイの姉妹関係の将来は私たちの子どもたちの交友関係の継続にかかっているといえます。福岡県を始め、関係者の方々にこのようなプログラムを主催して頂き、娘の心に残る、数々の文化体験と素晴らしい思い出を作ってください、心から感謝申し上げます。

F  
グループ

タナー テルヤ

Tanner Teruya



【ハワイ福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで、僕は先祖の出身地の町について、学ぶことができました。そして、日本人が自分たちの仕事に、誇りを持っていることも学びました。例えば、誰かがお店に入ろうとすると、従業員たちはすぐに対応できるように準備していて、大きな声で「いらっしゃいませ」「こんにちわ」と言い、とてもプロフェSSIONALに見えました。彼らは自分の地域社会に誇りを持っています。道端にはゴミが落ちていなかったのが、道路はまるで新品のようで、とても綺麗な状態でした。行くところは、どこを見てもきれいでした。僕はこの旅に行くことにより、お金を節約する大切さや、自己管理をする大切さを学び、自立したような気がします。

## ～親御さんからのメッセージ～

息子は、最初は一人旅に躊躇しており、出発前はとても不安を感じていました。息子が、福岡で経験した素晴らしい数々の楽しい思い出話をたくさん持って帰って来たときは、私達はとても驚きました。息子はハワイに戻ってきてから、今まで以上に自信をもち、独立し、自立し、とても成長したかのように見えます。

F

グループ



クック カリナ 美耶

Cook Carina Miya



【ハワイ島福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私の人生の中で最も忘れられない出来事の一つになりました。全てが最高の体験でした。日本には2度行った事がありますが、太宰府天満宮や博多祇園山笠や小倉城、県青少年科学館など、訪れた場所全てが新鮮で素晴らしいものでした。八女伝統工芸館でのうちわ作りや、太宰府天満宮で梅ヶ枝餅も作りました。小川知事と松尾議長にお会いする事もできました。宗像市の小学生と交流もでき、竹細工、そうめん流しやすいか割りを体験しました。また、那珂小学校と交流をする時間を作って頂き、とても感謝しています。一番良かったことは、他国から来た子どもたちと一緒に過ごせた事です。言葉の壁を心配していましたが、どういうわけか、上手くコミュニケーションがとれました。どこから来たか、何回日本に行ったことがあるかに関わらず、日本文化や美しさを感じ、それに感謝することができる事を学びました。

### ～親御さんからのメッセージ～

娘の大きな変化は、十分な自信を身につけ、親からの自立心を持った事です。娘が今回のように長い間、親から離れる事は以前では想像できませんでした。帰国した娘は、福岡で経験した事や訪問した場所について、全てを伝えようと気持ちが高揚していました。娘が一番喜んでいた事は、ブラジル、カリフォルニア州、中南米の友達ができただけでなく、同じ母国語を話さないのに、ポルトガル語やスペイン語を話す子どもたちとコミュニケーションをとり、新しい友達ができました。娘がこれからもずっと、福岡を「遠くにある知らない島」ではなく、日本の故郷として、近くに繋がっている事を感じ続けて欲しいと思います。この思いが県人会と福岡との、そしてハワイとの次世代の交流に役立つことと思います。

F

グループ



クック アスラン ケイコ

Cook Aslan Keiko



【ハワイ島福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

とても素晴らしいプログラムでした。初日、私は緊張していました。友達になりたいあまりお互いの顔色を見ながら、不安な気持ちでいっぱいでした。嬉しい事にプログラム中には打ち解けあい、サッカーをしたり、買い物をしたり、会話を楽しんでいました。素晴らしい眺めや美しい場所、文化体験などを通して、いくら離れていて文化が違っていても、共通点があり、一体になれる事に気づきました。那珂小学校で同世代の子どもたちと交流をした時、話す言葉は違ってはいたけれど、一緒に縄跳びやドッジボールなどをして遊び、同じようにスポーツやビデオゲームなどが好きだということも知りました。今回、私は言語の違いやどこから来たかとは関係なく、共有するものがある事が大事だと知りました。

### ～親御さんからのメッセージ～

最初に、娘の人生に大きな影響を与え続けていくであろう素晴らしい経験を与えてくださり、関係者の皆様に心から感謝いたします。娘の視野が広がり、今まで意識しなかった日本人である事に気付かせてくれました。帰国後、娘が最初にした事が、那珂小学校の生徒が習字で書いてくれた名前の紙を貼る事でした。娘は日本の食文化と日本人に理解を深めたようです。愛情を込めて、お世話になったホストファミリーの事を話しています。ヘルシーで腹持ちが良く、美味しい日本食を絶賛していました。特に味噌汁とラーメンが気に入ったようです。福岡から戻って、娘の日本語が上手になっていました。今年は学校で日本語の入門のクラスを取る事にしました。もう一度、このような素晴らしい経験に、心から感謝いたします。

# Report

参加者レポート

**【引率者】**

A  
グループ

中村 クリシアーネ 小百合

Nakamura Cristiane Sayuri



【ブラジル福岡県人会】

私は、以前日本へ行ったことがありましたが、福岡県に行くのは初めてでした。この事業は、本当に素晴らしく、引率者として参加できたことにとても感謝しています。日本と福岡県の文化をさらに知る事ができ、様々な素敵な場所を訪問し、美味しい食べ物をたくさん食べて、新しい友達をつくり、子どもたちと楽しい時間を過ごして、皆の優しさを受けました。福岡県知事にもあいさつができて、良い思い出がたくさんできました。他人の子どもを引率する事は、責任が重いと感じていましたが、いろいろな問題に直面した事で、私自身ももっと強くなれたと思います。ホームステイでは、父の叔父の家族と会うことができ、とても嬉しかったです。私の家族なんだな、日本にも家族がいると感じて、これからももっとこのような日本とブラジルの関係を大事に守り続けたいと思いました。

今回のプログラムが継続されているのには福岡県や県人会の努力があることがわかり、私も県会に貢献できるようになりたいと思いました。将来の世代にも、私達のルーツを守る大切さを伝えたいと思います。そのためにも、これからもっと日本語の勉強をして頑張りたいと思います。この事業で体験した事は一生忘れません。もっと多くの人に、このような素晴らしい経験ができる機会を持ってもらうためにも、この事業が続く事を希望します。どうもありがとうございました。

B  
グループ

山下 シンチア 瞳

Yamashita Cintia Hitomi



【ブラジル福岡県人会】

はじめに、福岡県に感謝の気持ちを表したいと思います。このプログラムに参加させていただくことで、日本文化、特に福岡県について知ることができました。このプログラムに参加することで、私自身の成長にも大きな影響を与えてくれました。自分のルーツを知ること、引率者としての責任、さまざまな事態に対処することなど、最初は期待に応えることができるかと不安に感じながらも、一日一日やりとげること、自分に自信をもつことができました。この期間、子どもたちとともに、いろいろなプログラムを体験しました。他国の子どもたちとの共同生活では、文化と風習について語り合いました。私にとって、一番心に残ったプログラムは、ホームステイでした。日本家庭の日常を体験することで、ブラジルとの生活の違いもわかりました。ホストファミリーの気遣いに心から感謝いたします。また、県費留学生の皆様にも、たくさん支えていただきました。

この経験を次の世代に伝えたいと思います。国際交流センターと福岡県の皆様のおかげで、とても貴重な体験をすることができた事に、心より感謝申し上げます。

B  
グループ

竹花 シンチア

Takehana Cintia



【トメアスー福岡県人会】

私達を温かく迎え、このプログラムを企画してくださった担当者の方々に、心から感謝いたします。日本に初めて行く機会を得ることができ、素晴らしい体験をすることができました。日本の方々のこのプログラムに対する努力と、すべてを正確に実行し、時間を守り、みんなで協力して何かをやり遂げる姿に感心しました。これらは日本文化と伝統の一部なのだと思います。プログラムについては、いろいろな国から参加した子弟たちですが、共通点が日本語だったおかげで、良いコミュニケーションをとることができました。この体験を通して、日本語を学ぶことがどれだけ大切に気がつきました。

現在の日系3世以降の世代は、日本語学習への意欲がだんだん失われてきています。その意味で、このプログラムは、日系人たちが日本語を勉強するきっかけになり、また、両親たちの故郷の文化や歴史、福岡の食べ物やいろいろな場所を知る、とても重要なものだと思います。一番心に残ったのは、那珂小学校のみなさんとの出会い、日本の親戚の方々との出会い、そして引率者と留学生たちが、一緒にとても良い時間をすごせたことです。別れのときは悲しくて、もう少し日本にいたいという気持ちでした。子どもたちも「まだ家に帰りたくない」と言っていました。このような、たくさんの良い思い出を作る機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

C  
グループ

大内田 真美

Ouchida Masami



【ペルー福岡クラブ】

はじめに、このプログラムを実現してくださった、福岡県国際交流センターの皆様、及び関係者の皆様に感謝の気持ちを伝えたいと思います。このプログラムのおかげで、国際交流や留学の大切さが分かりました。日本は総体的に見て、世界で一番マナーの良い国だと思います。私は最初、特別な目標を持っていませんでしたが、このプログラム期間中に、留学に興味を持つようになりました。食文化をはじめとする日本文化を見聞きし、体験し、もっと知りたくなりました。短い間に貴重な経験をたくさんしました。生まれ育った環境とは違う国で多種多様な価値観を持った人々に会い、視野が広まり、また日本語だけではなく、英語、スペイン語そしてポルトガル語に囲まれる生活をする事ができて、勉強になりました。異国の文化に触れて、大きく成長することができました。子どもたちだけではなく、引率者からも、違う考え方や物の見方を教わりました。自分の国の人たちとは違う考えを持ち、世の中にはいろいろな物事の見方があり、そのどれもが価値を持っています。初めてのホームステイは、最初は緊張しましたが、本当に温かく迎えてくださり、家族のように接してくれました。家族の大切さも実感することもできました。家族の故郷を身近で見、福岡県について、更に理解を深められたと思います。これからはペルー福岡クラブを支えてきたいと思います。このようなチャンスをくださり、本当にありがとうございます。

C  
グループ坂本 フリアナ  
Sakamoto Juliana

【コロンビア福岡県人会】

福岡に到着してから、福岡県知事やたくさんの方に歓迎を受けました。また、那珂小学校訪問や福岡県内を見学し、文化を知ることができ、本当に良い経験をさせて頂きました。

このプログラムで経験し、覚えた事は一生忘れることができません。また、各国の友達とも知り合うことができ、とても楽しい12日間でした。ホームステイでは、私の父が東京で仕事をしており、父と過ごす予定になっていましたが、仕事の都合で来られなくなりました。そのため、福岡でホームステイを受け入れてくださる中野さんのお宅にお世話になりました。本当の家族のように良くしていただき、野球を見に連れて行ってもらったり、ショッピングに行ったり、初めて畑の野菜を収穫したり、日本料理を教えていただいたりもしました。

本当に良い経験をさせて頂きありがとうございました。このチャンスをあたえてくださった皆様方に厚くお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

C  
グループ八田 生香  
Hatta Seika

【在ボリビア福岡県人会】

この事業に引率者として参加して、自分のルーツを知り「ああ、やっぱり私は日本人なんだ」と実感しました。ボリビアに生まれ育ちながら、常に周りの皆と違和感を感じていました。この事業で、忘れてはけない「日本人の心」「礼儀」自分自身が失いかけていたものを取り戻せたことを嬉しく思います。他の参加者も「日本ってすごいね!私の国と全然ちがう!」と同じことを考えていることに、笑ってしまいました。初めて流しそうめんを体験した時は、流れが速く、そうめんをつかむのに必死でしたが、皆で食べるそうめんは楽しかったです。日本では、私が町で歩いていても、誰も中国人と冷やかされることはありません。そのような意味でも、福岡が自分の原点なのだ実感しました。博多祇園山笠祭りでふんどし姿を見た時は、皆驚きを隠せず、目のやり場に困りながらも、迫力に圧倒されました。

プログラム中で一番思い出に残った事は、ホームステイでした。ホストファミリーの方が、家族同様に私に接してくれたことに感謝しています。別れは辛いけれど、とても充実した日々でした。

この体験をこれからの人生のバネに、また日本を訪れる時まで忘れずにいたいと思います。今回のプログラムは、福岡の血を受け継ぐ皆にとって、故郷を知る良い機会であり、自分自身を見つめ直すきっかけとなりました。このような素晴らしい事業を実行して下さった福岡県国際交流センターの皆さん、県人会長、ホストファミリーの安松さん、とても感謝しています。

この事業が末永く続くことを願っています。貴重な体験と、思い出をどうもありがとうございました。

D  
グループ

小沢 和子 アリシア

Ozawa Kazuko Alicia



【メキシコ福岡県人会】

まずはじめに、今回のプログラムを企画して下さったことを心からお礼申し上げます。このプログラムは、子弟だけではなく、引率者を含め全ての参加者たちを勇気づけ、モチベーションを高めてくれました。また、参加者のほとんどが初めての来福で、特に私にとっては、いろいろな場所において、祖父母から聞かされたり、教えられていた風景や習慣を思い出すことができました。もし祖父母が今の福岡県を見る事ができたなら、変化にとっても驚くでしょう。祖父母の故郷を知る機会をくださり、ありがとうございました。また、ホームステイでは、福岡の日常生活や習慣を体験させてもらい感謝しています。お世話になったホストファミリーの金子さんの素晴らしさや温かさ、優しさに触れてとても嬉しかったです。

また、プログラムについては、毎日のスケジュールがスムーズにいくように、ミーティングをしたり、いろいろな場所に連れて行って頂き、食事の手配や、太宰府天満宮見学、小倉城観光、何よりも八女伝統工芸館でのうちわ作り体験は、とても素晴らしかったです。今回の経験や、皆さんのことは一生忘れません。本当にありがとうございました。また、手伝ってくれた県費留学生の皆さん、通訳だけではなく、全てにおいて私たちを一生懸命サポートして下さり、本当にありがとうございました。

D  
グループ

津留 アーナ パウラ

Tsuru Ana Paula



【アルゼンチン福岡県人会】

日頃から私は、祖父母の故郷について、関心がありました。今回の子弟招へい事業のおかげで、日本の事のみならず、様々な国から参加した引率者や、県費留学生との交流で、異なる様々な文化、習慣を学ぶことができました。また、那珂小学校の訪問は、日本の小学生達との様々な活動を通して、私達はもちろんのこと、子どもたちにも良い影響を与えることができたのではないかと思います。

興味深かったのは、日本の小学生は、小さな頃から学校内の掃除や給食を自分達で行うことによって、責任感をもつようになることです。アルゼンチンではあり得ないことだと思います。また、市民防災センターなど、町ぐるみで安全に配慮するしくみも大変興味深かったです。

今回のプログラムで、福岡県国際交流センターの皆さんのご協力のおかげで、私たち各県人会から参加した子弟や引率者は、祖国・日本を知ることが出来ました。これからも、このすばらしいプログラムが継続されていくことを心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。



E  
グループ

宍戸 英司  
Shishido Eiji



【南加福岡県人会】

はじめに、福岡県国際交流局の皆様、国際交流センターの皆様にご心より厚く御礼申し上げます。2008年に息子が県費留学生としてお世話になった際に、子弟招へいプログラムが大変有意義なものであることを聞いておりました。今後の県人会活動に役立てることができればと思います、参加させて頂きました。

12日間のスケジュールは、最先端技術から日本の伝統文化の見学や体験、同年代の小学生達との交流など非常に良く計画されておりました。このような貴重な体験プログラムが末永く続けられることを心から願っております。その為には、参加した子どもたちや引率者等が病気や怪我なく無事終了することに尽きるかと考えます。言葉の問題も大きく、県費留学生に頑張って頂く必要があることも痛感しました。また、この貴重な子弟招へい事業や県費留学生制度をより効果的により継続的なものにするには、各県人会において、同じ体験をしたもの同士を組織化し、県人会活動ができるようなフォローアップと努力が必要と感じました。12日間で参加者に培われた、まさに一期一会の絆が、更に海外県人会同士の交流にまで繋がる事ができれば、皆様のご努力に報いる結果になるかと認識を新たに致しました。あらためて、この度皆様に頂きましたご厚情とご尽力に心より深く感謝申し上げます。

E  
グループ

見元 眞智子  
Mimoto Machiko



【サンフランシスコ福岡県人会】

今回の事業を可能にしてくださった、福岡県国際交流センター及び多くの関係者の皆様にご心よりお礼申し上げます。本当にご苦労様でした。それに応えるように、子どもたちは素晴らしい経験をしたようです。それは、彼らの輝いた表情に表れていましたし、帰国後の「楽しかった。また行きたい。もっと長ければよかった。」などの言葉が証明しているでしょう。同じルーツを持つ子どもたちには、文化や言葉の違いは邪魔にはならなかったようです。そして友達の輪が広がっています。私にとっては、日本語が共通語であるという素晴らしさに、今まで意識しなかった日本語の素晴らしさを再度認識することもできました。後にならないと理解できない事もたくさんあったと思いますが、きっと今回の経験は子どもたちには大きなプラスになったと信じています。

サンフランシスコ福岡県人会では、今回の参加者とその家族が発起して、気楽な同窓会が行われました。これで終わりにしたくないという全員の思いが募り、「筑紫っ子の会」が生まれようとしています。私の望みは、子どもたちの成長と共に、筑紫っ子の会の成長を見ることにあります。また、今回の私の経験をもとに、後に続く方々の役に立ちたいと思っています。この事業が続くこと、福岡県人として横の繋がりがもっと広がることを、強く願っております。

F

グループ



岩崎 パッツィ 百合子

Iwasaki Patsy Yuriko



【ハワイ島福岡県人会】

福岡からの”日系”とは何を意味するのでしょうか？私は長い間このことに興味を持ち、日本の文化や歴史、特に日本の移民について研究をしてきました。今回のプログラムで、答えが見つかりました。今回の滞在中に多くの文化や学校交流体験をすることができ、非常に幸運でした。アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、コロンビア、メキシコ、ペルー、北米、ハワイの日本人移民の子孫にあたる人達に直に会って、話し、一緒に時間を過ごすことで、日系移民について学ぶことができたことも、とても恵まれていました。参加者は4カ国語の異なる言語を話していましたが、日本の文化的背景があるということで、共感し、団結することができました。那珂小学校の生徒と交流し、書道や折り紙、お茶、太鼓などの日本文化を教えてもらい、体験することができました。とても貴重で意味のある体験でした。小川知事と松尾議長訪問は非常に意義深く、私達は、本プログラムに対する感謝の意を表明しました。博多祇園山笠を見ることもできました。グローバルアリーナで七夕祭りや、皿倉山でケーブルカーに乗った事も忘れられない思い出です。しかし、一番の思い出は、他の国からの参加者や、日本の子どもたちと友情を築くことができたことです。その時感じたことは、私達が同じ財産を共有し、家族であるということ、私にとって福岡からの日系とは「家族」を意味するということです。

# Report

参加者レポート

**【福岡県移住者子弟留学生】**

A  
グループ

細江 タニア 絵美  
Hosoe Tania Emi



【ブラジル福岡県人会】

子どもたちは、日本に到着した日、日本という異国の地や、他の国から来た子どもたちとの文化や生活の違いを感じたと思います。最初は皆恥ずかしがっていましたが、2日もすると子どもたちは、仲良く一緒に遊んでいました。文化や言葉が違って、間違えた言葉を使ってでも、コミュニケーションをとろうとし、その結果、子ども同士が仲良くなっていく光景を見ました。大人は子どもを見習って、恥ずかしがらずに相手とのコミュニケーションを取り、もっと自然に生きていけると良いなと思いました。

子どもたちや、引率者、私達にとっても、今回のプログラムはとても有意義なものでした。福岡各地を巡り、伝統文化を体験し、地域の方々と交流することができました。日本文化や福岡県の魅力が子どもたちに伝わったと思います。子どもたちは、地域の方や他国からの子どもたちとの交流で、たくさんの友達や良い思い出を作りました。彼らが日本のことをどんどん好きになるのを見て、このプログラムに参加して良かった、彼らが楽しんでくれて本当に良かったと思います。プログラム期間中はとても忙しかったけれど、貴重な経験でした。私にこのようなチャンスを与えて頂いた福岡県と、福岡県国際交流センターの皆様には、大変感謝しています。短い間でしたが、とても楽しい時間を過ごしました。子どもたちが未来への懸け橋になり、日本とのきずなをもっと深く、強くしていってくれることを願っています。

B  
グループ

松延 理恵  
Matunobu Lie



【ブラジル福岡県人会】

今回の事業は、私にとって素晴らしい経験でした。様々な人達の協力や思いが込められて、今回のプログラムが実現したのだと思います。私の実家があるブラジルの教会でも、60人が集まる子どもの集いがありますが、今回は言語の問題もあり、大変さにおいては、教会の集いと比べられないものでした。引率者が一人でもいなくなると、通訳してまとめる人がいなくなります。そうならないように、皆で同じ目標をもっていなければいけないと気づきました。子どもたちは、初めての日本で、新しい人達と出会い、全く聞いた事もない言語の国の人と友達になり、様々な所に行き、あふれるほどの思い出をつくって、自分の国に帰りました。子どもたちだけではなく、私達留学生、引率者、そしてその家族、いろいろな人達を喜ばすことのできる、本当に素晴らしいプログラムです。いろいろなところに行くことができ、日本と福岡の文化を、子どもたちと一緒に見ることができて楽しかったです。同じブラジル人であっても、考え方の違いも学べて楽しかったです。

これからも彼らが、福岡県と母国との懸け橋になることを願います。私も負けないように頑張ります。子どもたちにも、一緒に過ごした今回の楽しい思い出を忘れないでいてほしいと思います。

C  
グループ



ヨシカイ ベニテス ディエゴ アロンソ  
Yoshikay Benitez Diego Alonso



【ペルー福岡クラブ】

今回のプログラムで、かつて日本から海外へ移住した方たちの子孫にあたる子どもたちが、福岡に戻ってきました。彼等が大きなキャリアバックを引きずって、空港に到着したときの事を、私はよく覚えています。

この12日間はとても充実していたので、早く過ぎました。毎日の活動に参加し、子弟達と一緒に、私も新しい体験をすることができました。トヨタ自動車九州工場見学や、太宰府天満宮、久留米の県青少年科学館は、印象深く私の心に残っています。子弟達にとって、今回の訪問は、楽しく過ごすことも大切でしたが、それ以上に、新たに出会えた人々との交流を大切にすることが重要でした。子弟達は生まれ育った故郷以外に、ルーツである福岡という違う世界を知ることができました。私にとっては、今回の多くの経験が素晴らしく、感動するものばかりでした。もっと日本語を学びたいと強く思いました。

国際交流センターや皆様のおかげで、このようなプログラムを経験する機会を与えていただき、とても感謝しています。

C  
グループ



徳永 直人  
Tokunaga Naoto



【在ボリビア福岡県人会】

海外福岡県人会子弟招へい事業は、今年で6回目でした。このプログラムでは、様々な国から来た日系人の子弟や引率者に、日本の文化を知ってもらうこと、また他の国の子どもたちとの文化交流を目的としています。

今回子どもたちは、宗像市や那珂小学校の子どもたちとの交流を通して、日本文化を学び、言葉やたくさんの方に触れ、多くのことを学びました。トヨタ自動車九州工場の見学では、みんな、車の生産ラインにとっても興味を示していました。工場の中を見て学び、とても楽しんでいました。

今回のプログラムでは、またとない体験ばかりを経験できたと思いました。博多祇園山笠祭りの見学では、子どもたちは、実際の山車を見ることができて、とても感動していました。また、通りすぎる山車に水をかけることもでき、とても楽しんでいました。

プログラム期間中に、様々な国の子どもたちと引率の皆さんに出会えて、とても良い思い出になりました。そのうえ、僕もいろいろな物を見たり、経験することが出来て、とても勉強になりました。

とても楽しい時間を過ごしました。

D  
グループ

湯浅 ファクンド

Yuasa Facundo



【アルゼンチン福岡県人会】

今回のプログラムの中で、様々な体験ができました。福岡で有名な、小倉城や太宰府天満宮、トヨタ自動車九州工場に見学へ行きました。日本文化の体験、例えばうちわ作り、太鼓の演奏、流しそうめん、梅ヶ枝餅作り、茶道体験、博多祇園山笠祭りなど、様々な事をしました。それに加えて、子どもたちと引率者は、3日間、日本の家族とホームステイの経験もしました。

私の中で一番心に残った事は、那珂小学校で1日小学生と交流をしたことです。1年生、5年生、6年生の授業に参加しました。日本の子どもたちと一緒に、給食を食べたり、休み時間には、運動場で一緒に遊ぶことができました。1日の最後には、県人会の子どもたちが、それぞれの国の伝統的な歌やダンスを披露しました。日本の子どもたちも、県会の子どもたちも、お互いの文化をもっと知ることができ、とても良い経験になったと思います。

このプログラムに参加して、私もとても良い経験になりました。男の子の人数がとても多いのに対して、引率者の男性が少なくて、少し大変でしたが、私はとても子どもが大好きなので、良い時間を過ごせました。

私は小学生の時にこのプログラムによく似た、広島県人会のプログラムに参加したことがあります。その時の思い出がたくさん残っていて、今でもその時のホストファミリーと連絡を取っています。自分が体験したように、子どもたちは大人になっても、この12日間のことは絶対に忘れないだろうと思います。日本のことにもっと興味を持って、みんなまたいつか日本に来ることができると良いなと思います。

E  
グループ

金川 龍介

Kanagawa Ryusuke



【南加福岡県人会】

7月5日からの12日間、海外福岡県人会子弟招へい事業が行われました。7ヶ国から22人の子どもたちと11人の引率者が福岡県に来ました。33人という大人数は、過去最多でした。毎日行事がたくさんありました。子どもたちがとても元気だったため、少し大変でしたが、その分、得ることも多かったと思います。参加者と、毎日一緒に過ごして、行動を共にすることで、国際交流をしながら福岡の文化を学ぶことができました。これは参加者にとって、とても良い経験になったと思います。また我々県費留学生にとっても、素晴らしい体験でした。特に良い経験だと思ったのは、那珂小学校での小学生たちとの交流です。小学生たちは一生懸命話しかけてきて、言葉の壁を全く感じない程楽しく遊んでいました。同年代の子どもたちと交流ができ、貴重な体験ができたと思います。私にとっても楽しい経験でしたが、子どもたちが楽しそうに遊んでるのを見て、それが何より心温まりました。子どもたちにとって一生忘れられない、楽しい経験になったと思います。これからもぜひ、この事業を続けてもらいたいです。

F  
グループ

横尾 謙児 ロナルド

Yokoo Kenji Ronaldo



【ブラジル福岡県人会】

子弟招へいプログラムで過ごした12日間で、友達が増え、たくさんの経験ができました。いろいろな国から子どもたちと引率者が福岡県に来ました。この行事で子どもたちだけではなく、僕もいっぱい楽しむことができました。

僕は子どもたちと引率者と共に、福岡県についての知識や日本文化をたくさん学ぶことができました。短い期間でしたが、子どもたちは日本での生活の事や、福岡について学べたと思います。今回、福岡県のような地域を、見学しました。僕が一番心に残っているのは、見学させてもらった所すべてに、現代の生活や、日常に関連するものがあつたということです。僕たちが行った小倉城のような歴史的な場所では、現在でも実施されている多くの事柄や習慣が、古くから伝わってきた事なのだということを学びました。そして、その歴史に関する文章を読んで、昔のことをより深く理解できるようになりました。

この子弟招へいプログラムを通して、子どもたちが福岡県から来た先祖のルーツをたどることができることは、すばらしいことだと思います。是非このプログラムを続けて、次の世代の子どもたちも、このような貴重な経験をさせてあげられるといいなと思います。

F  
グループ

上田 上村 ゆきこ ブルナ

Ueda Uemura Yukiko Bruna



【ブラジル福岡県人会】

私にとって子弟招へいプログラムは、とても大切な思い出になりました。このプログラムに参加できたこととても感謝しています。

子どもたち22人は、アメリカやアルゼンチン、ブラジル、ポリビア、コロンビア、メキシコ、ペルーなど、いろいろな国から来ました。子どもたちと一緒に、11人の引率者も来ました。みんな、祖母や祖父、曾祖母や曾祖父が、福岡に生まれた子孫たちです。このプログラムで子どもたちも引率者も福岡をもっと知ることができたと思います。

子どもたちは、みんないつも元気で、いい笑顔をしていて、毎日いろいろなところへ行き、様々なことを学びました。3日間のホームステイもしました。子どもたちから「もう一度、福岡へ行きたい!」、「もう帰りたくない!」という言葉聞いたときは、とても嬉しくなりました。その言葉を聞いて、子どもたちが福岡県に来る前より、確実に福岡県の事が好きになってくれたのだらうな思いました。私自身も、このプログラムでいろいろなことを学ぶことが出来ました。いろいろな国からの、いい友だちもできました。

# 福岡県出身の移住者やその子弟等で構成される海外の県人会について

## 福岡県の海外移住

### (1) 海外移住の始まり

明治18年(1885年)のハワイ移住により始まり、128年を経過

### (2) 海外移住者総数(自由移民を含まず)

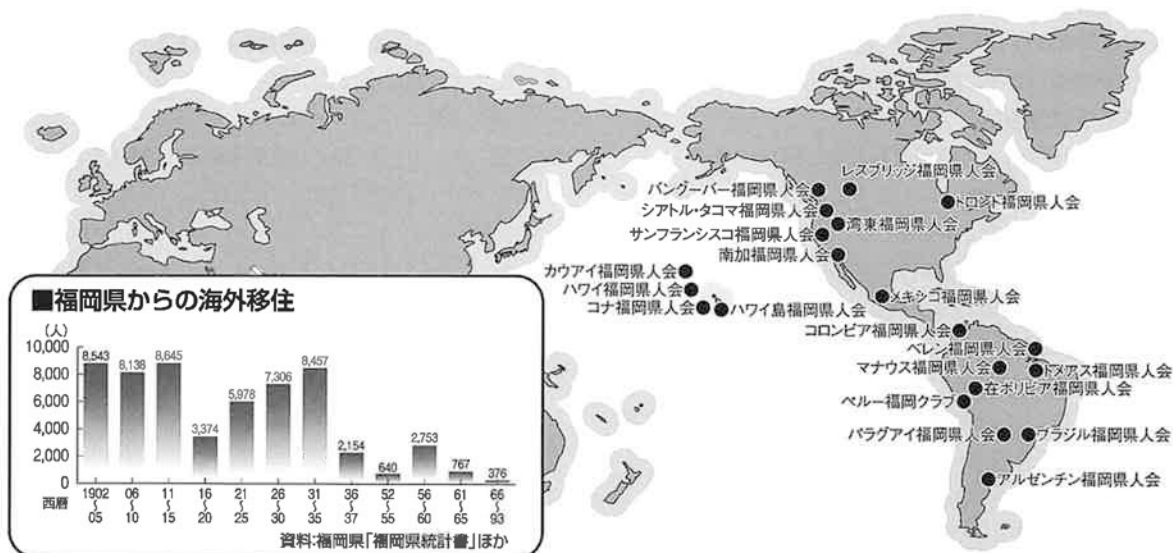
戦前(明治32年から昭和16年) 51,240人(全国比7.8%)

戦後(昭和27年度から平成5年度) 4,536人(全国比6.2%)

※戦前・戦後計 55,776人(全国第4位)

第1位	広島	98,975人
第2位	沖縄	79,454人
第3位	熊本	72,699人
第4位	福岡	55,776人
第5位	山口	47,430人

## 海外の福岡県人会



アルゼンチン共和国	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ島福岡県人会
ボリビア多民族国	在ボリビア福岡県人会		バンクーバー福岡県人会		カウアイ福岡県人会
ブラジル連邦共和国	ベレン福岡県人会	コロンビア共和国	コロンビア福岡県人会		コナ福岡県人会
	ブラジル福岡県人会	メキシコ合衆国	メキシコ福岡県人会		南加福岡県人会
	マナウス福岡県人会	パラグアイ共和国	パラグアイ福岡県人会		サンフランシスコ福岡県人会
	トメアスー福岡県人会	ペルー共和国	ペルー福岡クラブ		シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ福岡県人会		湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会



## 海外福岡県人会子弟招へい事業 実施要綱

### (目的)

第1条 海外福岡県人会会員の子弟を本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図るものである。

### (事業の実施)

第2条 この事業は、関係機関で構成する海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会(以下「実行委員会」という。)が実施する。

2 実行委員会は、国際交流局交流第二課長、青少年課長、義務教育課長、公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって組織する。

3 実行委員会の委員長(以下「委員長」という。)は、公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって充てる。

### (会議)

第3条 実行委員会は、委員長が必要に応じて開催する。

2 実行委員会は、第4条に規定する事業について協議し、決定する。

### (事業)

第4条 実行委員会は、海外福岡県人会子弟招へい事業(以下「招へい事業」という。)の実施にあたり、次のことについて協議し、決定する。

- (1) 事業計画と事業予算の決定
- (2) 招へいする子弟及び引率者(以下「招へい者」という。)の決定
- (3) その他、この事業の実施に関し必要と認められる事項

### (招へいする子弟の条件)

第5条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的を理解していること
- (2) 海外福岡県人会会員の子弟であること
- (3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること
- (4) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
- (5) 心身共に健康であること
- (6) 日常の身の回りのことが一人でできること
- (7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること
- (8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること
- (9) 以前に当プログラムに参加したことのない子弟であること

### (引率者の参加条件)

第6条 招へいする子弟は引率者が帯同するものとする。

2 引率者は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的をよく理解していること
- (2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること
- (3) 海外福岡県人会の会員であること
- (4) 招へいする子弟の祖父母、父母、兄、姉、伯父(叔父)、伯母(叔母)ではないこと
- (5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること
- (6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること

(7) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること

(8) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること

(9) 以前に当プログラムに参加したことのない引率者であること

### (申請書の提出)

第7条 招へい事業の参加希望者は、招へい事業参加申請書(様式第1号)もしくは引率申請書(様式第2号)に親権者の承諾書(様式第3号)を添え(親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要)、海外福岡県人会長(以下「県人会長」という。)に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請者の提出があったときは、推薦書(様式第4号)を添えて、委員長に提出するものとする。

### (招へい者の決定)

第8条 委員長は、実行委員会の中に、招へい者を決定するため、海外福岡県人会子弟招へい者等選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

2 委員長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。

3 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書(様式第5号)を交付する。

### (選考委員会)

第9条 前条の選考委員会の委員は、国際交流局交流第二課長と公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事とする。なお、必要に応じて委員長が別途委員を指名することができる。

2 選考委員会は委員長が必要に応じて開催する。

### (経費)

第10条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

### (事務局)

第11条 実行委員会及び選考委員会の事務を処理するため、事務局を公益財団法人福岡県国際交流センターに置く。

2 事務局長は公益財団法人福岡県国際交流センター事務局長をもって充てる。

### (その他)

第12条 この要項に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成20年1月17日より施行する。

### 附 則

この要綱は、平成21年2月17日より施行する。

### 附 則

この要綱は、平成22年2月8日より施行する。

### 附 則

この要綱は、平成25年4月1日より施行する。

# Short Term Visit Program for Young Descendants of Immigrants from Fukuoka Prefecture 2013.7.5 ~16

平成25年度 海外福岡県人会子弟招へい事業 報告書

主催◎海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

発行◎平成25年12月